

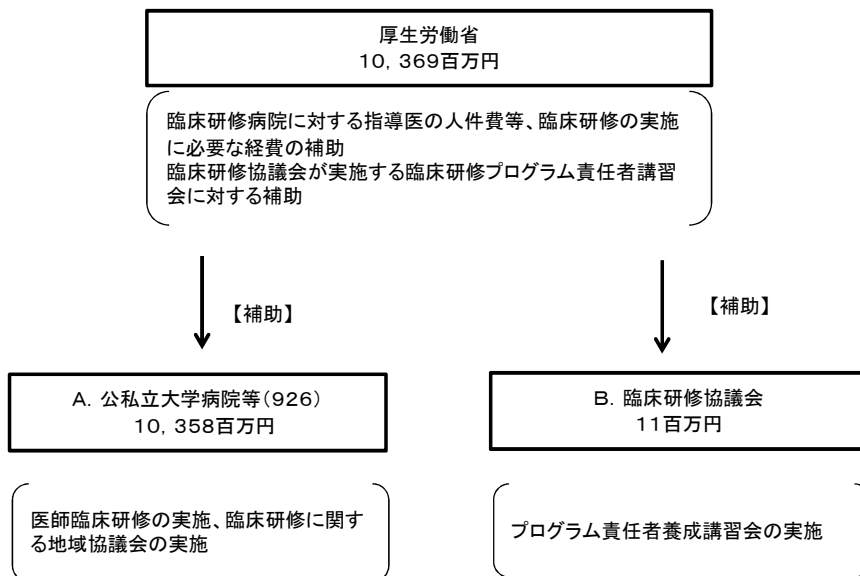
平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	臨床研修費			担当部局庁	医政局			作成責任者	
事業開始年度	昭和43年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医事課臨床研修推進室			室長：田村 卓也	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-2-2 医療従事者の資質の向上を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	・平成23年3月30日医政発0330第1号「医師臨床研修費補助事業の実施について」 ・平成25年5月20日厚生労働省医政0520第2号「臨床研修費等補助金交付要綱」等				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、一般的な診療において頻繁に関わる疾病に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度・技能・知識)を修得するための臨床研修を支援すること。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	改正医師法の施行に伴い平成16年4月より医師臨床研修制度が義務化され、将来専門とする分野にかかわらず、患者と良好な信頼関係の下に患者を全人的に診ることができるよう、①医師としての人格を涵養し、②プライマリ・ケアの基本的な診療能力を修得するとともに、③臨床研修に専念できる環境を整備すること、を基本的な考え方として臨床研修病院に対して指導要員等、臨床研修の実施に必要な経費に対する補助を行っている。また、臨床研修の研修プログラムの企画・立案を行うプログラム責任者に対する講習会について補助を行っている。								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	13,209	12,148	10,369	9,043	7,982		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		13,209	12,148	10,369	9,043	7,982		
執行額		13,209	12,148	10,369					
執行率(%)		100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28年度	
	研修医の満足度調査(満足度5段階評価のうち4段階以上の回答者の割合)について、前回調査以上とする。なお、当該項目に係る調査は、平成25年度より3年に1回となっている。	研修医の満足度調査(満足度5段階評価のうち4段階以上の回答者の割合)	成果実績	%	78	70	-		
			目標値	%	74	78	-	70	
			達成度	%	105%	90%	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28年度	
	研修医の基本的な臨床知識・技術等の習得状況調査:救急患者の重症度および緊急度を判断できる研修医の割合について、前回調査以上とする。なお、当該項目に係る調査は2年に1回行っている。	研修医の基本的な臨床知識・技術等の習得状況調査:救急患者の重症度および緊急度を判断できる(「自信を持ってできる」「できる」と答えた研修医の割合)	成果実績	%	85	-	89		
			目標値	-	85	-	85	89	
			達成度	%	100%	-	105%		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28年度	
	研修医の基本的な臨床知識・技術等の習得状況調査:頭部MRI検査の適応が判断でき、脳梗塞を判定できる研修医の割合について、前回調査以上とする。なお、当該項目に係る調査は4年に1回となっている。	研修医の基本的な臨床知識・技術等の習得状況調査:頭部MRI検査の適応が判断でき、脳梗塞を判定できる(「自信を持ってできる」「できる」と答えた研修医の割合)	成果実績	%	90	-	-		
			目標値	-	90	-	-	90	
			達成度	%	100%	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	補助金対象の医師研修医数			活動実績	人	11,565	12,518	12,676	
				当初見込み	人	12,788	12,720	13,007	13,181

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	活動実績	当初見込み						
プログラム責任者養成講習会の修了者数	活動実績		人	301	301	304		
	当初見込み		人	300	300	300	300	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位あたりコスト=X/Y							単位当たりコスト
	X:執行額 Y:研修医数		計算式	X/Y	13,209百万円 /11,565人	12,148百万円 /12,518人	10,369百万円 /12,676人	9,043百万円/13,181人
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	臨床研修費等補助金	9,032	7,971	臨床研修費等補助金における医師確保対策経費及び臨床研修指導医確保事業の見直しに伴う減額				
	医療関係者研修費等補助金	11	11					
計	9,043	7,982						

事業所管部局による点検・改善					
項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	臨床研修の円滑な実施は、患者と良好な信頼関係のもとに患者を全人的に診ることができるよう①医師としての人格の醸成、②プライマリ・ケアの基本的な診療能力の習得のために重要であり、国費を投入すべき。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医師臨床研修は医師法の改正における付帯決議において、国が実施すべき事業とされており、臨床研修の円滑な実施を図るため、引き続き国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	臨床研修の円滑な実施は、患者と良好な信頼関係のもとに患者を全人的に診ることができるよう①医師としての人格の醸成、②プライマリ・ケアの基本的な診療能力の習得のために重要であり、優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	交付要綱において補助対象、補助率を定めており、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	診療現場への直接の影響が比較的小さく、業務の効率化が見込まれている経費から削減に努めており、コスト水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	交付要綱において、真に必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	診療現場への直接の影響が比較的小さく、業務の効率化が見込まれている経費から削減に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	達成率について、高い水準で推移しており、見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	当初見込みと同程度であり見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	臨床研修実施病院は毎年、年次報告書を作成することとしており、臨床研修の実施状況について把握している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	当該事業は、臨床研修医が増加する中、平成26年度においても研修医の質に関わる項目は極力対象としない工夫を行うなど、研修の質の維持を図ってきた。さらに平成27年度は、財務省が実施した予算執行調査を踏まえ、研修医の受入人数が多い施設について、指導医・上級医の人数が多くなっており、指導の負担が実質的に分散されることなどの観点から、補助経費のうち研修医の代替要員雇上に係る単価を下げるなどの見直しを行った。また、今後、医学部定員増に伴う臨床研修医の増加を踏まえ、臨床研修で地域医療への従事が要件となっている研修医にかかる経費について地域医療介護総合確保基金において対応する。			
	改善の方向性	臨床研修の円滑な実施による医師の質の一層の向上は、患者にとって信頼できる医療を確立するために必要であるため、コストの削減に努めながら、今後も当該事業の継続は必要である。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	毎年、研修医が増加する中、予算額を見直し、効率的・効果的に事業がなされているものと考えられることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
財務省が実施した平成26年度の予算執行調査の結果では、今後の改善点・検討の方向性として「1. 研修医の受入人数が多い(一定規模以上の)医療施設に対しては、補助金単価を減減させる仕組みの導入を検討すべき」、「2. 研修医に高額な給与を支払っている医療施設に対する補助金の減額措置をさらに強化すべき」とされた。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	85	平成23年度	72	平成24年度	51
平成25年度	40	平成26年度	45		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.獨協医科大学病院			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	指導医等人件費	103			
	その他	需用費、役務費等	2			
	計		105	計		0
	B.臨床研修協議会			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	需用費	消耗品費、印刷製本費	3			
	使用料及び賃借料	会場借料	2			
	人件費	給与費等	2			
	旅費	講師等旅費	2			
	謝金	講師謝金	1.6			
	役務費	通信運搬費	0.3			
	計		10.9	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	獨協医科大学病院	医師臨床研修の実施	105	-	-
2	自治医科大学附属病院	医師臨床研修の実施	99	-	-
3	久留米大学病院	医師臨床研修の実施	93	-	-
4	和歌山県立医科大学附属病院	医師臨床研修の実施	86	-	-
5	東海大学医学部附属病院	医師臨床研修の実施	84	-	-
6	京都府立医科大学附属病院	医師臨床研修の実施	81	-	-
7	金沢医科大学病院	医師臨床研修の実施	81	-	-
8	東京医科歯科大学附属病院	医師臨床研修の実施	78	-	-
9	杏林大学医学部附属病院	医師臨床研修の実施	73	-	-
10	総合病院国保旭中央病院	医師臨床研修の実施	73	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	臨床研修協議会	プログラム責任者養成講習会の実施	11	-	-